

議長・副議長あいさつ

就任ご挨拶

議長 下川 正剛



5月臨時議会において、再度議長

長の重責を担うことになりました。責任の重さに身の引き締まる思いであります。

議会の使命は、地方公共団体の具体的な政策を最終的に決定すること。執行機関の行政運営や、事務処理及び事業の実施が適正に、しかも公平・効率的に民主的に行われているか、村民の立場になって監視することにあります。地方分権がさげられるなかで、議会の担う役割はますます重要になってきており、執行機関と議会がお互いに緊張感を保ちながら、地方自治の

振興と調和のある住民福祉、安心・安全・活力ある村づくりに努めて参りたいと思えます。白馬村を取り巻く環境は、

観光振興、命をつなぐ松本・糸魚川連絡道路の早期実現、北アルプス広域連合ごみ処理施設、少子高齢化対策、人口の減少など課題は山積しております。自由闊達な議論を通じ、合意形成に努めて参りたいと思えます。議会では議会活動の一環として、婦人会・老人クラブ・商工会・教育委員会等と懇談会を実施しており、貴重なご意見・ご提言をいただき、今後も行政側につなげていきたいと考えます。

ひらかれた議会・信頼される議会を目指して参りたいと思えますので、村民の皆様には一層のご指導をお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

就任ご挨拶

副議長 松沢 貞一



私は、この度の改選により副議長

に選任されました。議員として2年の経験しかなく非力ではありますが、重責を全うすべく全力を傾注する所存です。村民皆様のご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。さて現在の白馬村は難しい課題が山積しています。観光立村といえながら、長引く不況により経済環境は年々厳しさを増しています。また、ごみ処理場の問題を始めとして地域社会や環境問題も増加し複雑化しています。

このような状況において、村政を担う議会の役割はますます



真剣な眼差し（ミャンマー青年指導者との懇談会）7月15日

ます大きく重くなっています。下川議長を中心に11人（欠員1）の議員がそれぞれの立場を尊重する中で議論を尽くし、より良い白馬村を作るために一致団結して努力をしなければなりません。そのために議

長を補佐し、議会のスムーズな運営に全力で取り組む所存です。短期と長期両方の視点から将来を見据え、5年後10年後あるいは50年後の白馬村を、みんなで考え創っていきましょう。